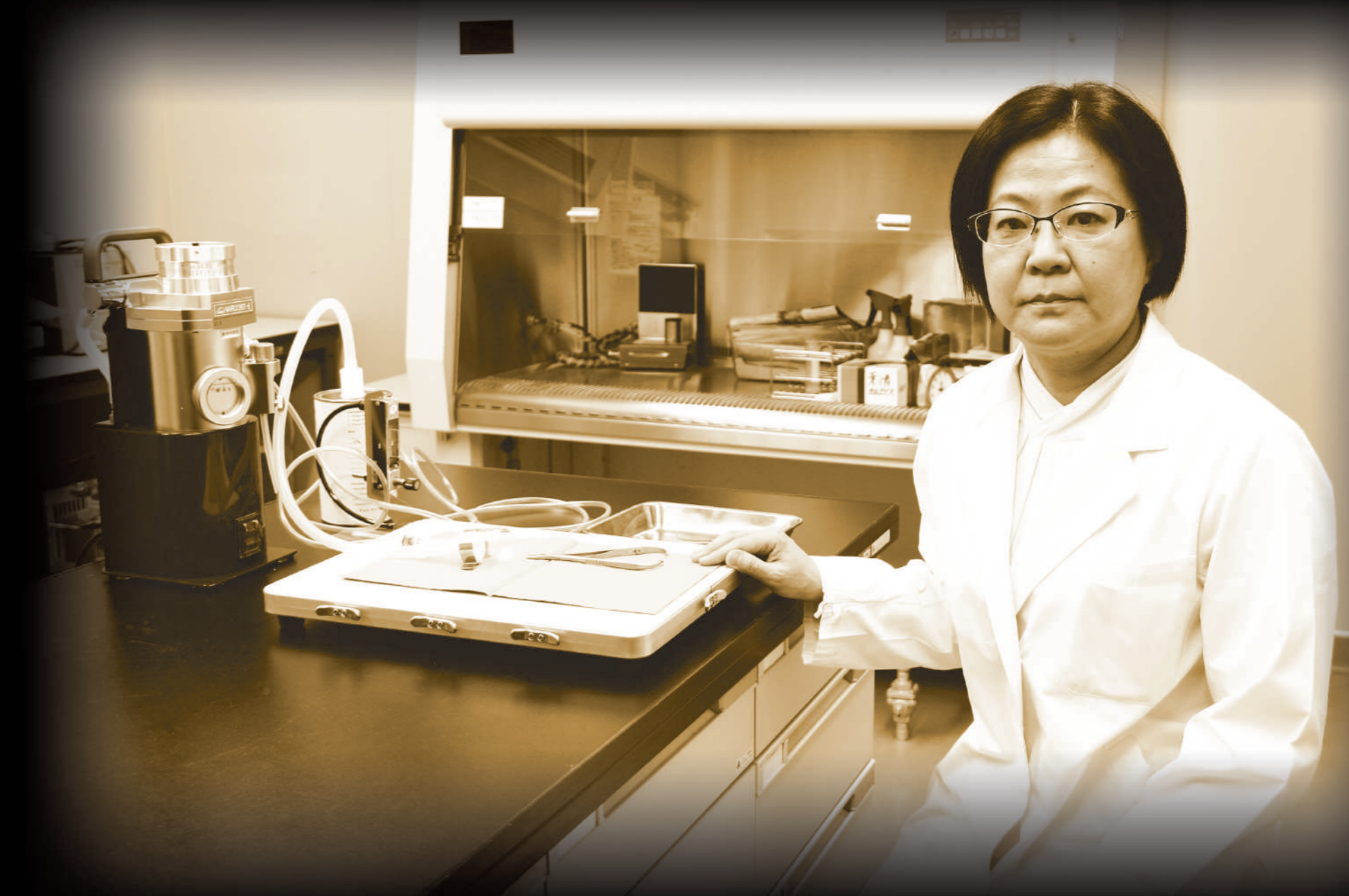


脳梗塞モデルを用いて 新たな脳保護薬の設計を！

タンパク質レベルで脳組織を解析

皆さんがよく耳にする“脳梗塞”は、血栓などの塊が動脈に詰まる疾患です。脳に水分が異常に溜まってむくむ脳浮腫と脳内血管の病変がみられ、急性期に症状が急に現れます。血液の流れが不足している状態の根本的な治療法は血流の再開ですが、急性期に血流を再開させると脳浮腫が著しく悪化します。そのため、血流再開による脳浮腫悪化のメカニズムを解明することは治療法の確立において非常に重要です。この分野ではこれまでに脳の部分における神経細胞死にフリーラジカルによる脂質過酸化が関与していることなど、様々な研究が行われていますが、脳梗塞やその周辺部位の組織におけるタンパク質の変動については明らかにされていません。そのなかで私は脳梗塞による脳浮腫や周辺部位の病態をタンパク質レベルで解明しようと、ラット(実験用のねずみ)を用いて血流再開可能な脳梗塞モデルを作製し幅広い範囲の解析に取り組んでいます。この研究によって、新たな脳保護薬の設計に役立つ新たな光を見い出せると考え日々研究にあたっています。



薬学部 薬学科 中嶋 弥穂子 教授



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物 工学科	応用生命 科学科	機械工学科	ナノサイエンス 学科	建築学科	宇宙航空 システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 検索